

薬ができることの、その先へ。



個人投資家向け会社説明会

塩野義製薬株式会社 広報部長 兼 秘書室長

京川 吉正



SHIONOGI

【証券コード：4507】

将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

アジェンダ

- 01** What's SHIONOGI **P.5**
- 02** SHIONOGIの成長戦略 **P.13**
中期経営計画 STS2030 Revision
- 03** 株主還元方針 **P.28**

アジェンダ

01 What's SHIONOGI ----- P.5

02 SHIONOGIの成長戦略 ----- P.13
中期経営計画 STS2030 Revision

03 株主還元方針 ----- P.28

SHIONOGIといえば・・・

ミュージックフェア



- 1964年8月31日の放送開始から50年以上、SHIONOGIによる一社提供で放送
- 日本の民放音楽番組の中で最長寿

OTC医薬品

セデス・ポポン・リンデロン・パイロンPL・メジコン・シナール...



第2類医薬品



第2類医薬品



指定医薬部外品



第2類医薬品



第2類医薬品



第3類医薬品



医薬部外品



第2類医薬品



第2類医薬品

そして、感染対策に
高機能マスク



会社概要

大阪市に本社を置く創業146年を迎える製薬会社

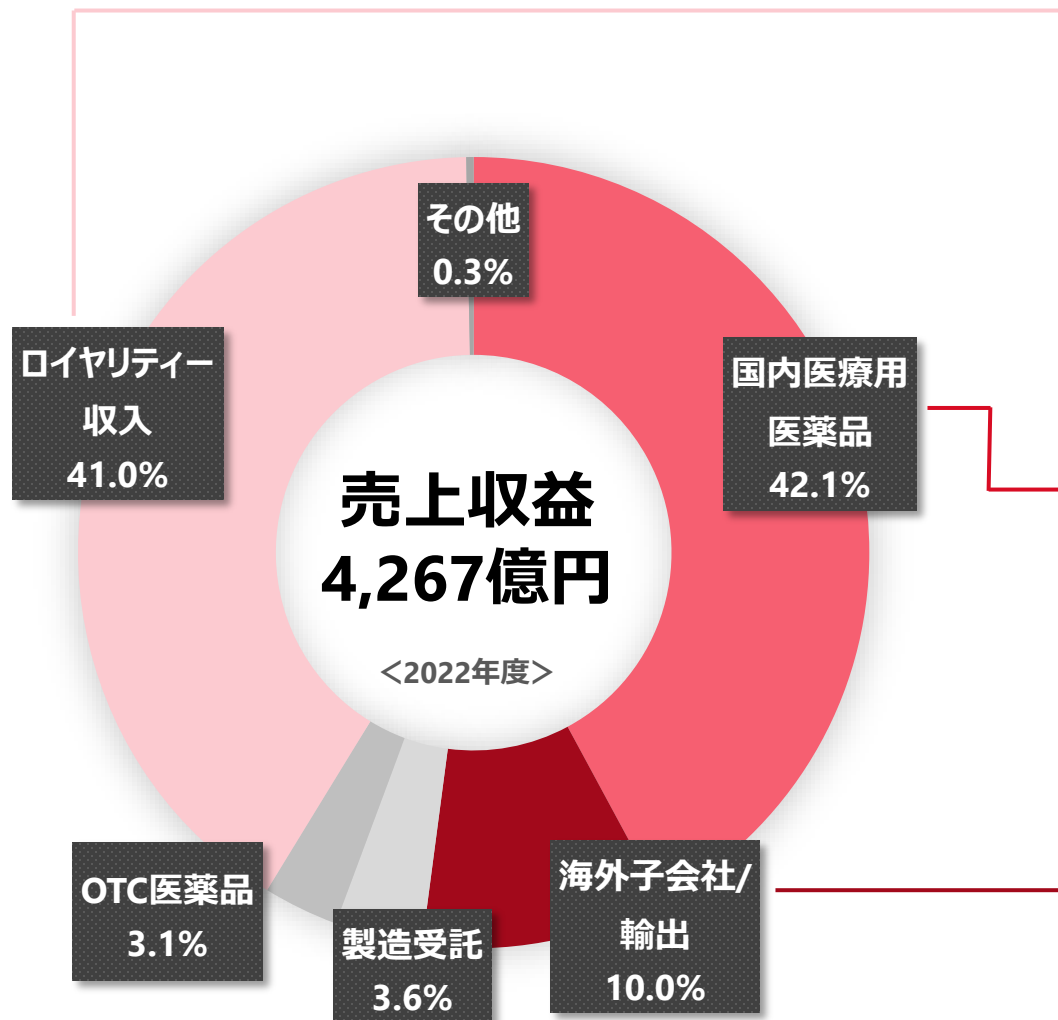
商号	塩野義製薬株式会社 SHIONOGI & CO., LTD.
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 手代木 功
創業	1878年3月17日
会社設立	1919年6月5日
本社所在地	大阪市中央区道修町
従業員数	連結 5,693名*
業種	医薬品製造販売業
事業内容	医薬品、臨床検査薬・機器などの製造・販売
連結売上高	4,267億円*
営業利益額	1,490億円*



SHIONOGI Group Heritage

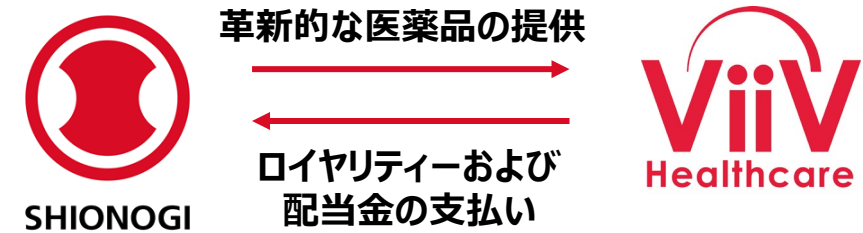
**SHIONOGIは、
常に人々の健康を守るために
必要な最もよい“薬（ヘルスケアソリューション）”
を提供する。**

2022年度の売上収益とその構成



ロイヤリティー収入

- HIV治療薬を導出し、その対価としてロイヤリティーを受領



国内医療用医薬品

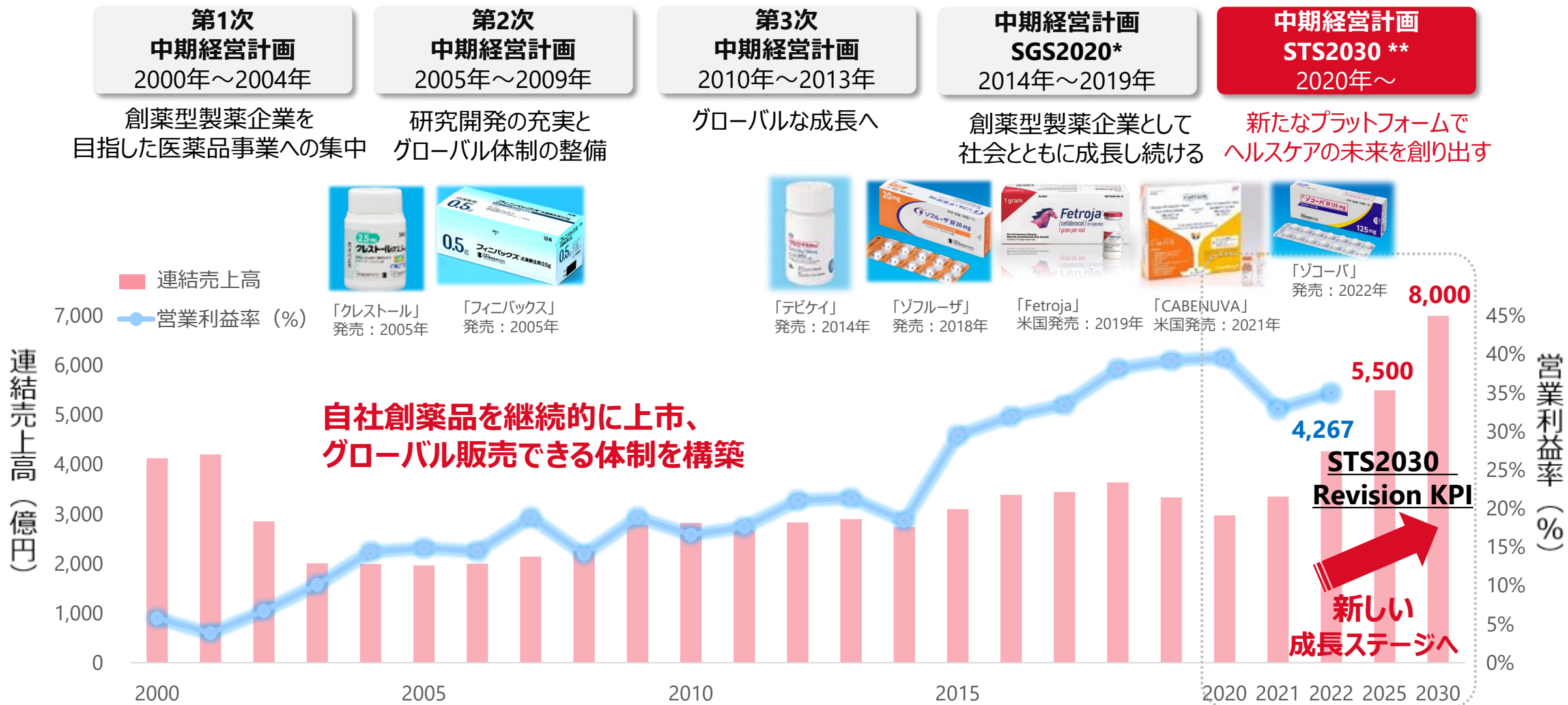
- 感染症と精神・神経・疼痛領域を中心とする医薬品の販売



海外子会社/輸出

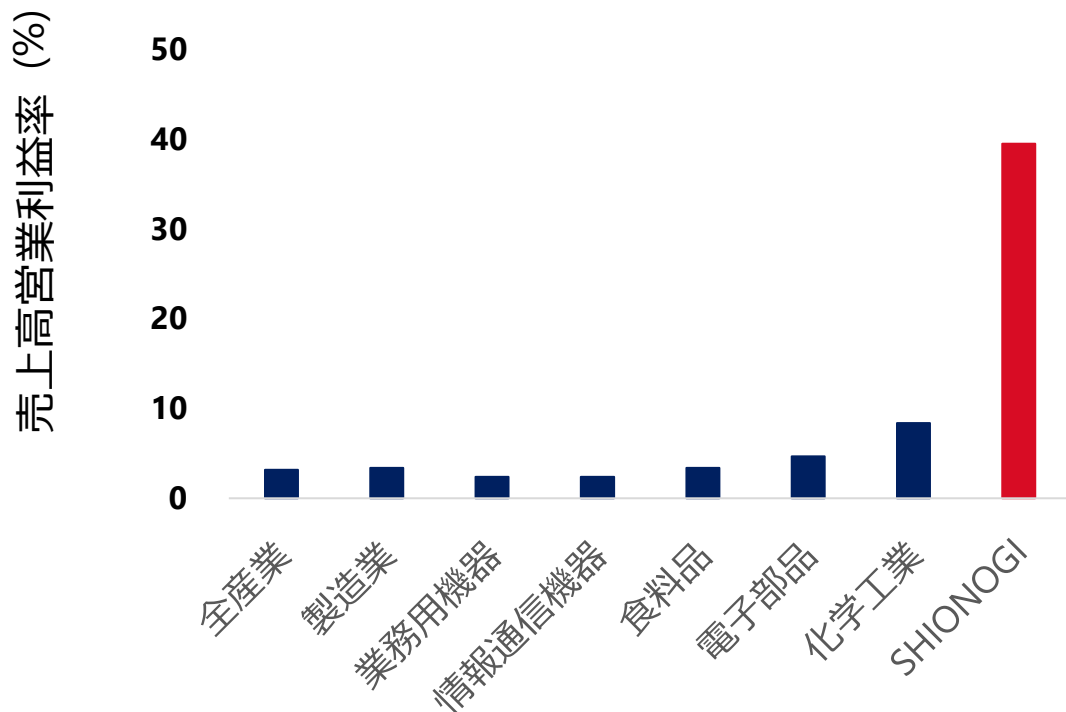
- Shionogi Inc.（米国）、Shionogi B.V.（欧州）、平安塩野義（中国）、Taiwan Shionogi等による医薬品販売

SHIONOGIの成長の軌跡

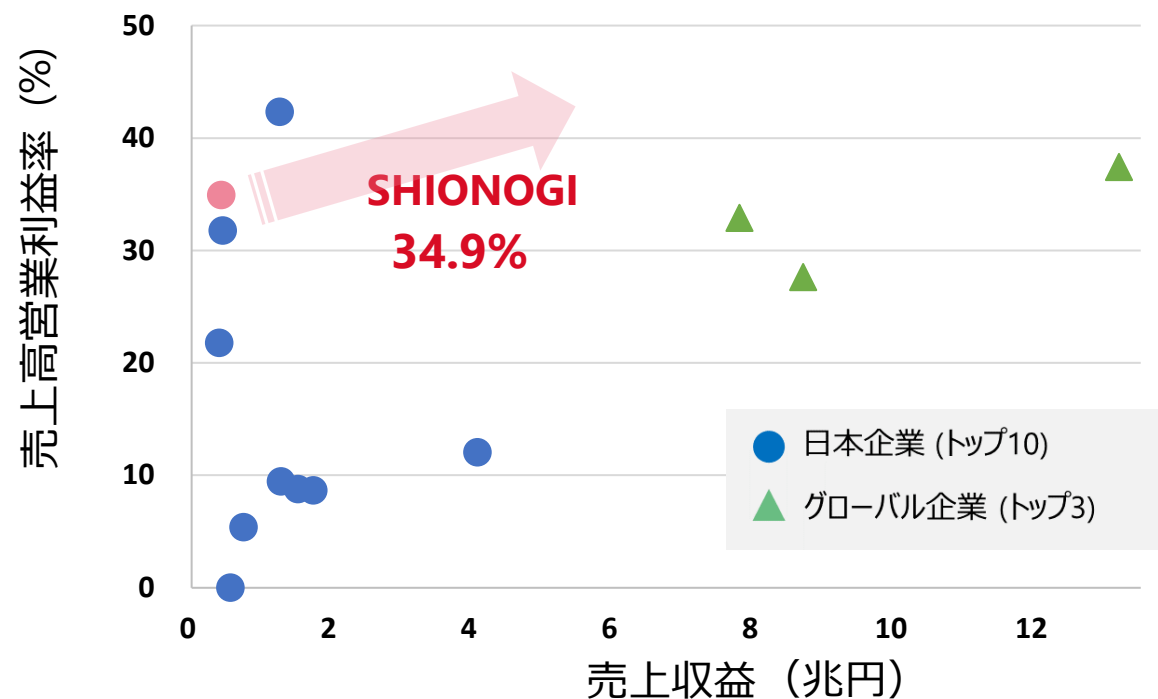


SHIONOGIの特徴：高い売上高営業利益率

2020年度の産業別売上高営業利益率*



主な製薬企業の売上高営業利益率**



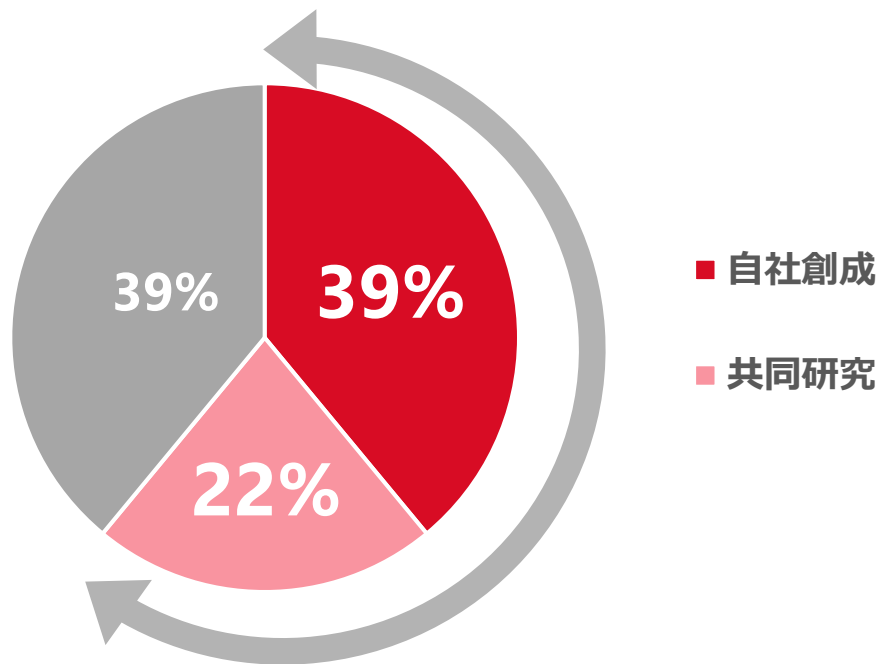
効率よく稼ぐことができる、世界レベルで見ても特徴がある企業

SHIONOGIの特徴：優れたイノベーション創出力

■ 自社創薬比率(2023年3月時点)

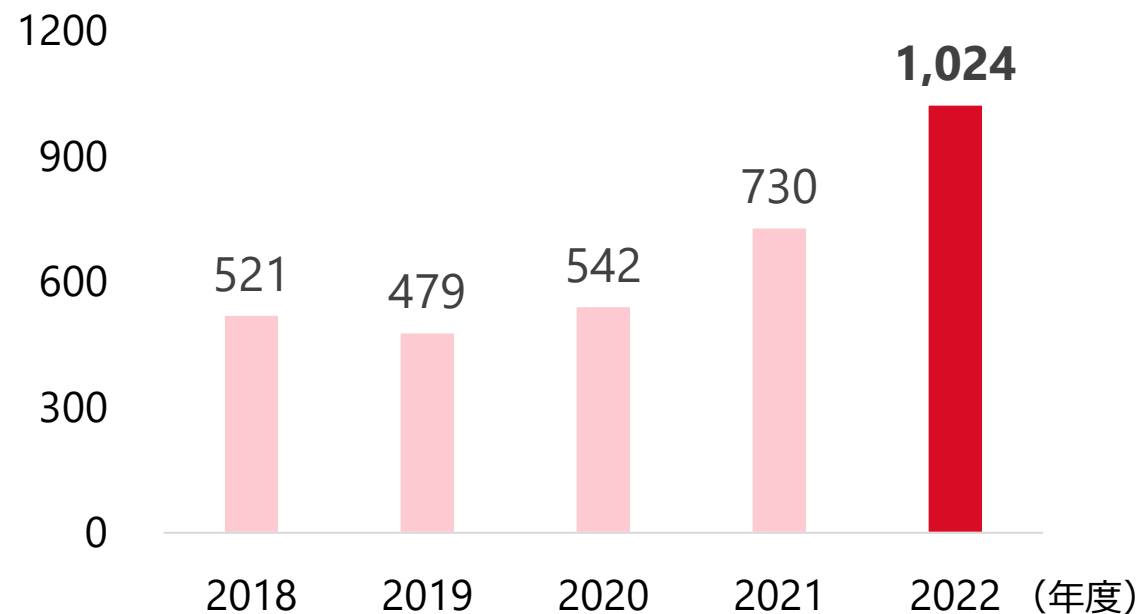
61%

一般的な製薬企業の自社創薬比率は
20-30%と言われている



■ 研究開発費の推移

(億円)



アジェンダ

- 01 What's SHIONOGI P.5
- 02 SHIONOGIの成長戦略** **P.13**
中期経営計画 STS2030 Revision
- 03 株主還元方針 P.28

2030年 Visionと中期経営計画 STS2030 (2020年6月発表)

2030年 Vision

**新たなプラットフォームで
ヘルスケアの未来を創り出す**

SHIONOGI Group Vision (2030年 Vision)

- 2030年にSHIONOGIが成し遂げたいこと -

2030年 Visionを達成するための戦略

STS2030

SHIONOGI Transformation Strategy 2030

Transformationの具現化

STS Phase1

('20 - '24)

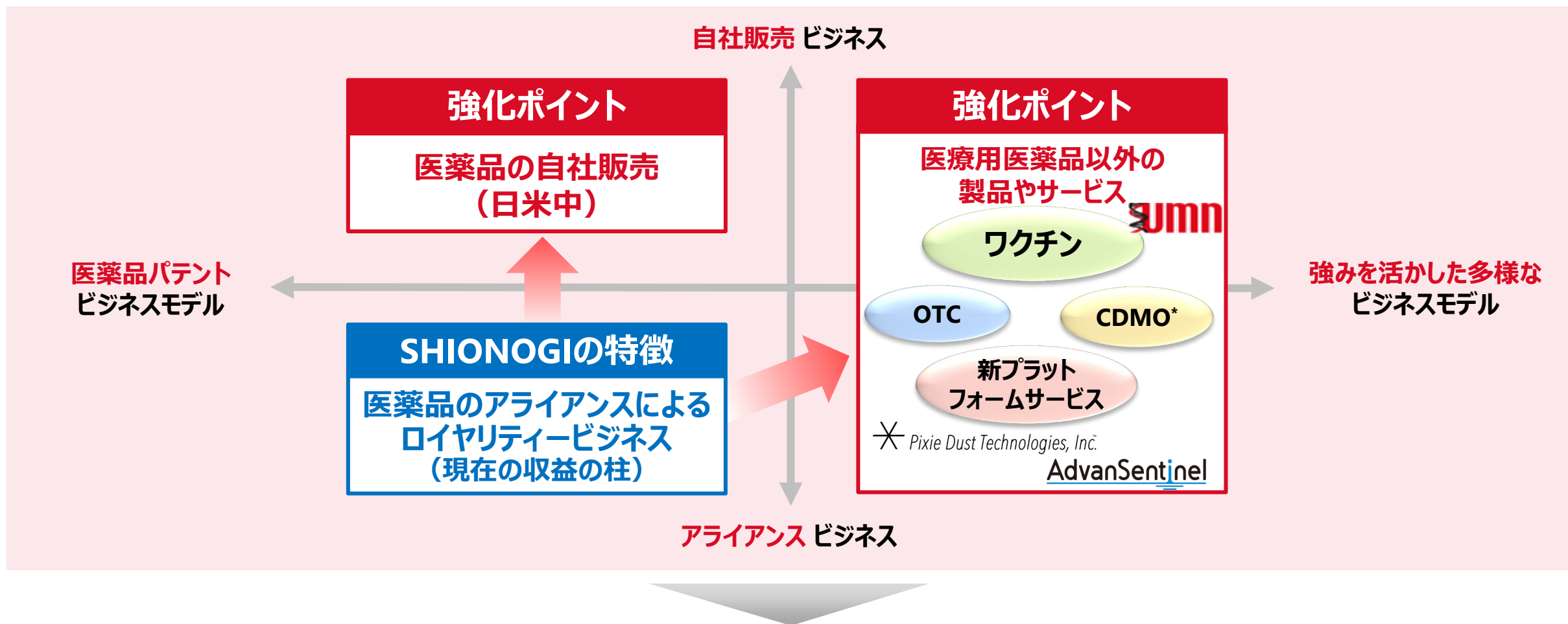
Transformationによる成長

STS Phase2

('25 - '30)



ビジネスモデルの転換による拡大



複数の新しいビジネスモデルにより、高利益率と経営基盤の安定を両立

HaaS企業への変革 -STS2030発表後3年間の成果-

ヘルスケアサービスとしての価値提供（Healthcare as a Service : HaaS）

- 多様なパートナーと協創する事で、新たな付加価値を産み出し、患者さまや社会の困りごとを解決する
- 「医療用医薬品」の創製で培った強みをさらに強化し、その強みを活かして協創の核となる

• AdvanSentinel設立

- 下水モニタリングによる感染状況の調査を開始

• 不眠治療アプリ

- サスメド社と販売提携契約

• ADHD治療アプリ

- Akili社からライセンス契約

• 脳波測定アプリ

- PGV社と業務提携契約

• 「医療用医薬品」の創製

- SHIONOGIがこれまで培ってきた注力領域を強化
- 新型コロナウイルス感染症治療薬「ゾコーバ」の開発・上市

• Yui Connection設立

- 児童生徒に適切な教育プランを教員に提案する教育支援サービス

• 音刺激による認知症ケアへの挑戦

- PxDT社との共同研究

• ワクチン事業への参入

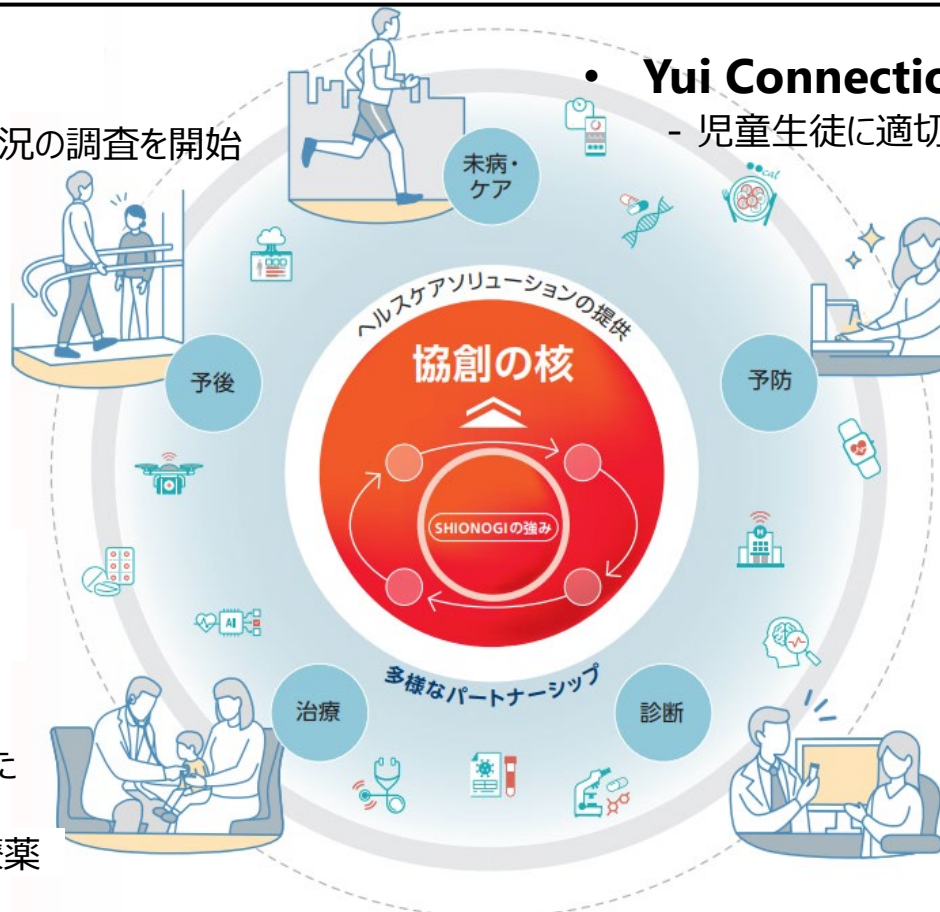
- COVID-19ワクチンの開発

• オンライン診療

- エムスリー社と共同で、合併会社ストリーム・アイを設立

• 診断キット

- インフルエンザや新型コロナを診断するキットや機器の開発・販売

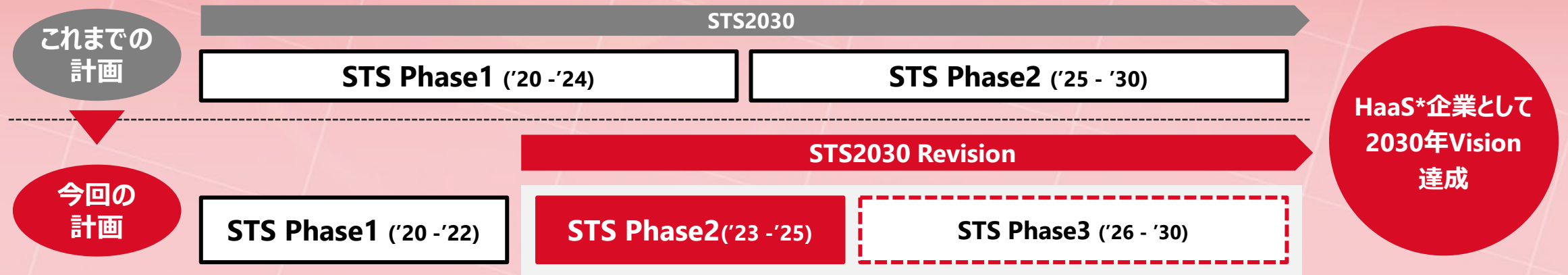


STS2030を改訂した戦略：STS2030 Revision

2030年Vision実現への道筋をより明確にした新たな戦略

STS2030 Revision

- Shionogi Transformation Strategy 2030 Revision -



STS2030 Revisionにおける達成すべき6つの経営指標

		STS Phase1	STS Phase2		STS Phase3
		FY2022	FY2023	FY2025	FY2030
成長性指標	売上収益	4,267億円	4,500億円	5,500億円	8,000億円
	海外売上高 CAGR*	—	—	50% FY2022を起点とする	15% FY2025を起点とする
	EBITDA**	1,779億円	1,670億円	2,000億円	—
株主還元指標	EPS	621.31円	530円以上	600円以上	—
	DOE	3.9%（予定）	4.0%	4%以上	—
	ROE	17.8%	13.5%以上	14%以上	—

* CAGR（Compound Annual Growth Rate：年平均成長率）

** EBITDA（Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation, and Amortization：利払い・税引き・償却前利益）

2030年Vision実現に向けた成長

- HIV関連製品の上振れ
- エンシトレルビルを中心に成長（STS Phase2：2023-25）
- 積極投資（R&D、事業投資）による2030年Vision実現に向けた成長（～2030）

売上収益

- 新製品・新規事業
- COVID-19治療薬
- HIVロイヤリティー収入

FY2022

FY2025

FY2030

新製品・新規事業の拡大

- 開発中の製品による感染症・精神神経/疼痛プラットフォームの成長
- ポートフォリオの拡充
 - アンメットニーズ創薬、成長ドライバーへの投資
- ワクチン事業の成長

COVID-19治療薬の成長

- エンシトレルビル、後継品を含めたCOVID-19治療薬の強みを活かしたビジネスモデルを構築

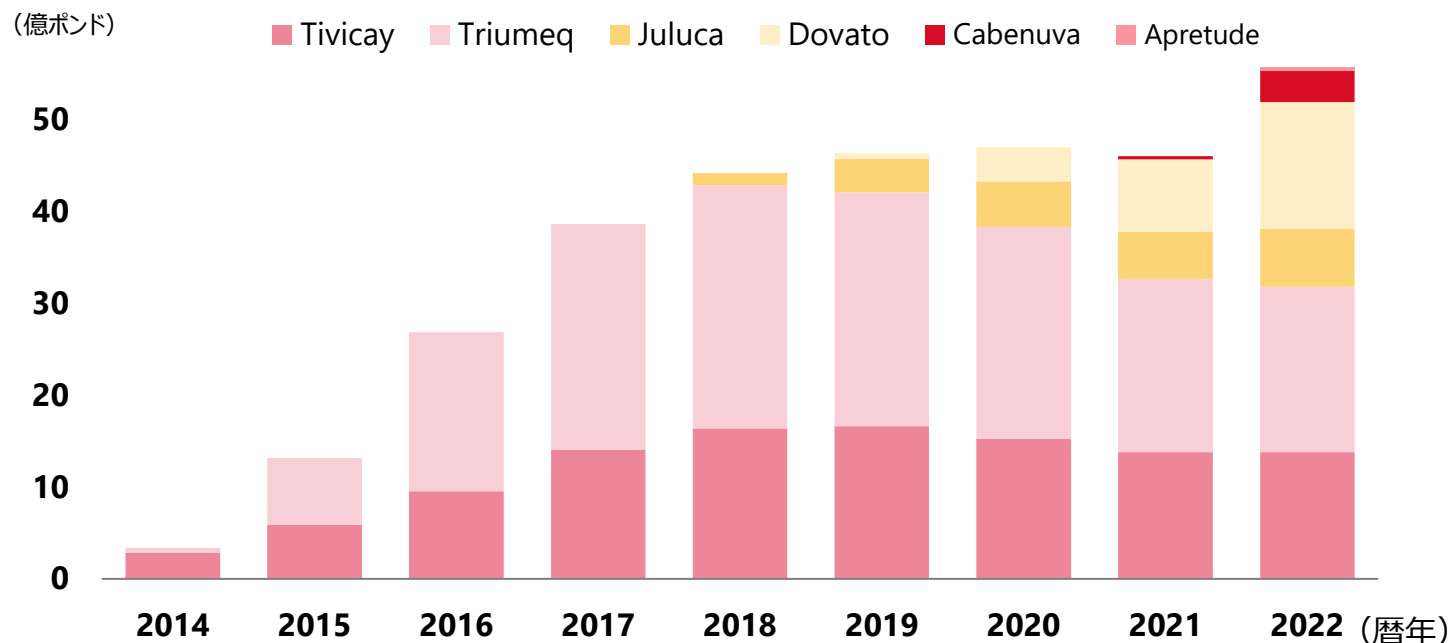
HIVビジネスの更なる伸長

- 長時間作用型製剤、2剤レジメンによる成長
- 中長期のさらに大きな成長に向けた研究開発の実施

ViiV社*によるHIVビジネスの進展

- 新製品群を中心に売上が伸長
 - － ViiV社からのロイヤリティー収入：1,685億円（2022年度）
- 今後もLA製剤を中心に持続的な成長を実現

ViiV社によるHIVフランチャイズの売上推移



ViiV社の新製品群

経口2剤レジメン

- 服薬数を減らすことで患者負担を軽減 -



「Dovato」



「Juluca」

LA製剤**（長時間作用型製剤）

- 2か月に1回の投与で治療・予防を完結 -



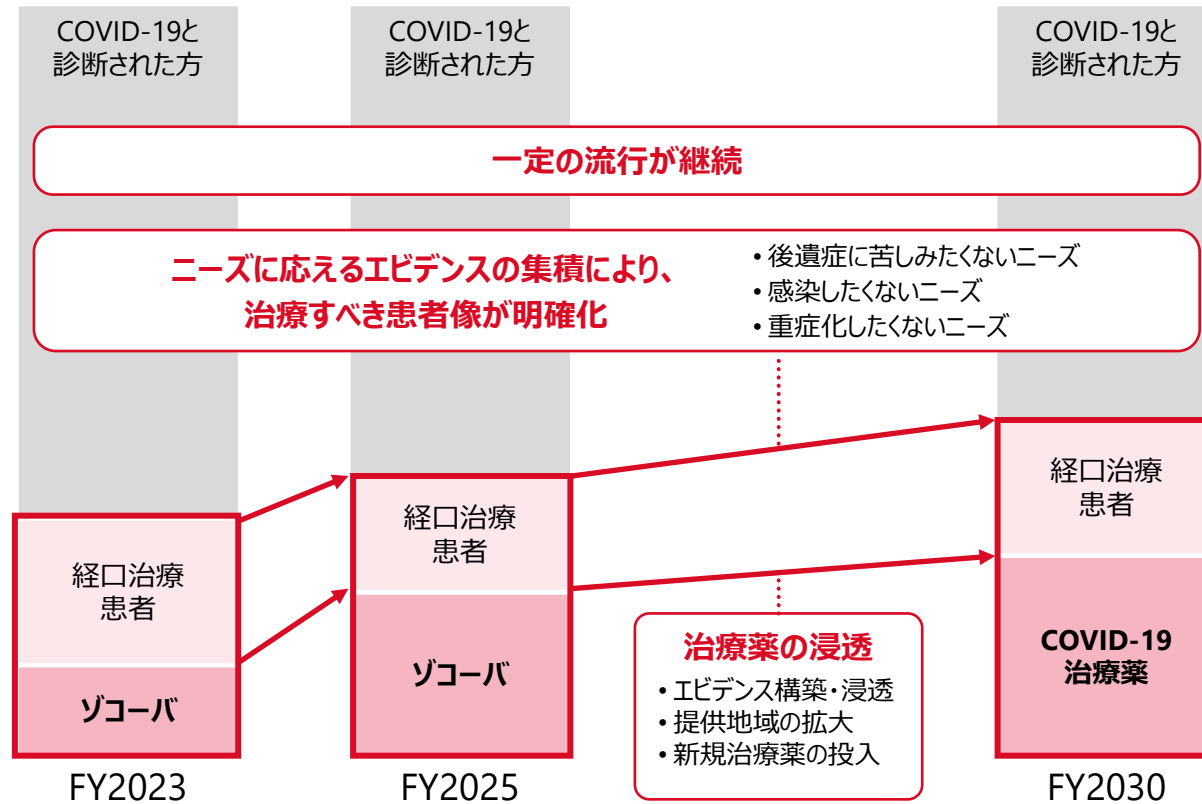
「Cabenuva」：治療薬 「Apretude」：予防薬



COVID-19治療薬の取り組みと展望

COVID-19に関する予見と方針

- SHIONOGIの予見：今後も変異を繰り返しながら免疫を回避し、流行が継続
- SHIONOGIの方針：臨床でのエビデンスを構築し、COVID-19のグローバル標準治療薬としてのポジションの確立



COVID-19治療薬の 持続的な成長に向けた取り組み

- **ゾコーバの新たな価値提供**
 - 外来ハイリスク患者、入院患者
 - 発症予防、Long COVID発現リスクの低下等のエビデンス
- **ゾコーバのグローバル提供**
 - アジア：東アジア各国での承認申請およびASEAN*へ展開
 - 米国、欧州：24年度以降、供給開始予定
 - その他の地域：パートナーリングを活用し迅速に提供予定
- **より多くの方に使っていただける新規治療薬 S-892216等の創出**

COVID-19治療薬ゾコーバ：実施中の臨床試験一覧

医療・社会ニーズに応えるために、様々な対象における臨床試験を幅広く実施

SCORPIO-HR試験*	目的：重症化リスク因子を持つ患者を含む外来COVID-19患者における臨床症状改善効果の検証 - 目標登録症例数：2,000例（年内に症例登録完了見込み） - Long COVIDに対する効果も併せて検証
SCORPIO-PEP試験	目的：濃厚接触者におけるCOVID-19症状の発症抑制効果の検証 - 目標登録症例数：2,200例 - 症例登録が順調に進捗
小児試験	目的：治療選択肢の限られる小児への適応拡大 6-12歳未満：日本で先行して臨床試験を実施中 - 並行して、グローバル小児試験を準備中
STRIVE試験*	目的：入院重症患者におけるエンシトレルビルの有効性・安全性の検証 目標登録症例数：1,500例

新製品・新規事業を中心とした拡大

既存アセット・開発ポートフォリオの拡充と新規事業（ワクチン事業等）により成長

新製品の成長

開発パイプラインの上市・拡大

FY2025までに上市予定

- Resiniferatoxin（変形性関節症に伴う疼痛）
- Zanolmilast（脆弱X症候群*）
- Zuranolone（うつ病）
- サスメド Med CBT-i ®（不眠障害用アプリ）

FY2026以降に上市予定

- Olorofim（侵襲性アスペルギルス症）
- S-337395（RSウイルス感染症）
- S-309309（肥満症）
- S-151128（疼痛）
- レダセムチド（脳梗塞）
- S-531011（固形がん）



既存アセットの成長

- ゾフルーザ
- セフィデロコル
- ナルデメジン
など



製品導入

ワクチン事業の成長



アジアからグローバルに展開し、
1,000億円ビジネスに成長

強みを活かしたビジネス展開

OTC

CDMO**

プラットフォーム
サービス事業

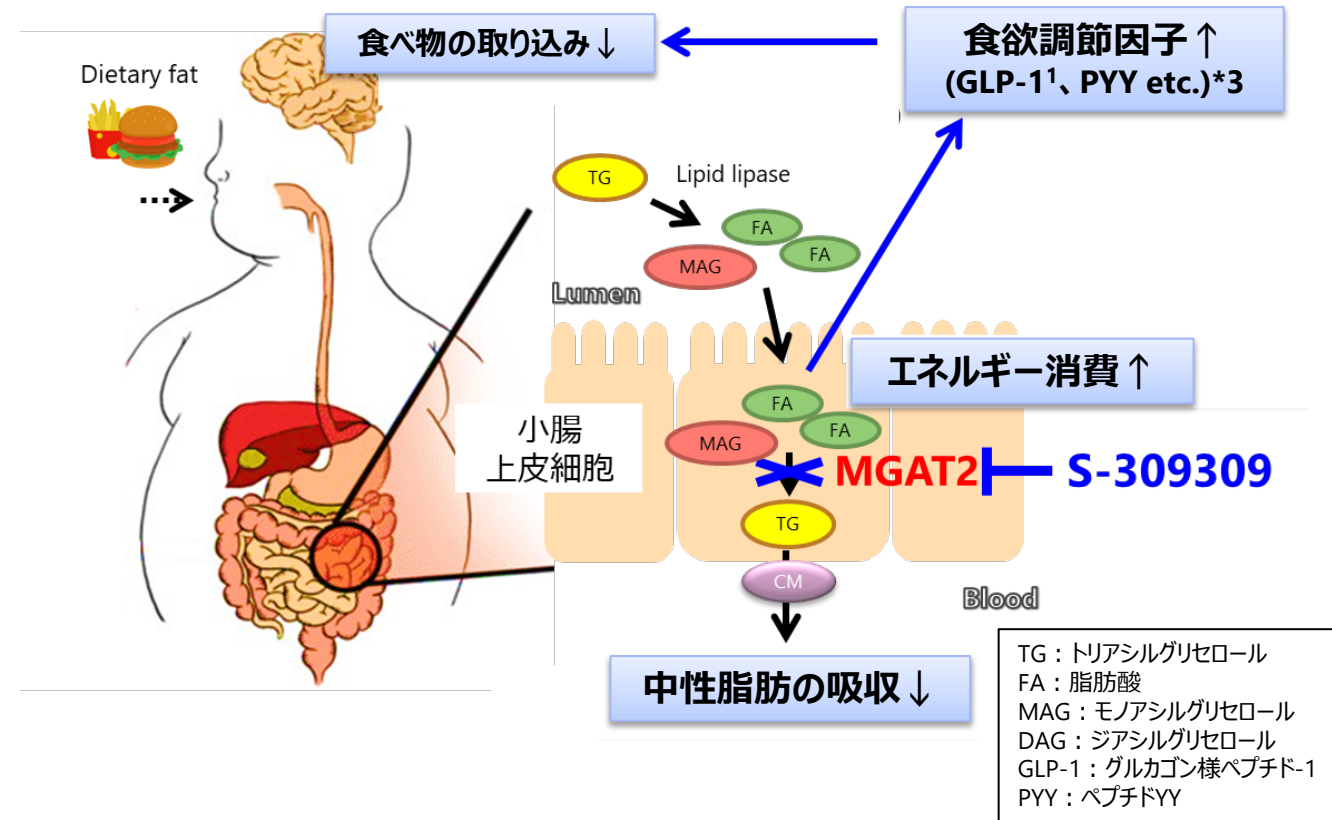
新規メカニズムの経口抗肥満薬：S-309309

抗肥満薬 S-309309の特徴

- 有効性と安全性・忍容性のバランスの取れた薬剤
 - Phase 1にて高い安全性と良好な忍容性を確認
 - 既存の抗肥満薬であるGLP-1製剤と異なる作用機序
 - 小腸上皮細胞の中性脂肪再合成を強力に阻害
 - > 食欲調節因子の分泌増加を介した摂食抑制
 - > 中性脂肪の吸収を抑制
 - > 脂肪酸の蓄積によるエネルギー消費が増加
- ⇒ GLP-1との併用によるさらなる体重減少の可能性
- 低分子の経口治療薬
 - 経口治療による利便性の向上
 - 患者の経済的負担の軽減

S-309309の作用機序

- モノアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ2（MGAT2）阻害剤



ワクチンの研究開発

COVID-19ワクチンの開発

- 既に実用化された実績のある技術をもとにしたワクチン
 - グループ会社のUMNファーマが有する技術を活用した「組み換えタンパクワクチン」
- S-268019（武漢株）の製造販売承認申請の実施
- XBB1.5株対応単価ワクチンの開発

⇒ 2024年度の秋・冬シーズンにおける変異株対応ワクチンの本格供給を目指す

UMNファーマ

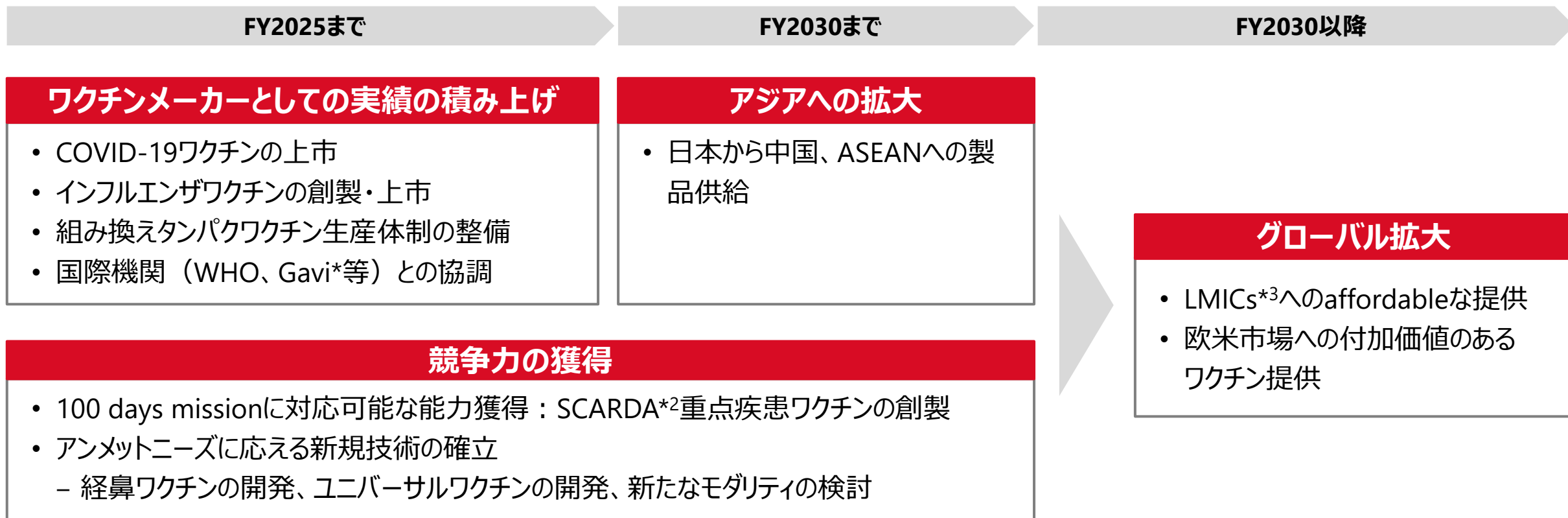


強みとなる新規技術の開発

- ユニバーサルワクチン
 - 新たな変異株、さらには次のパンデミックに対しても有効なワクチンの創製
- 経鼻ワクチン
 - 効果的な粘膜免疫を誘導し、感染予防効果の期待される経鼻ワクチンの研究開発の推進

ワクチン事業の展望

持続的なビジネスモデルを構築し、1,000億円ビジネスへの成長を目指す



主要な開発プロジェクトの進捗

2023年10月30日現在

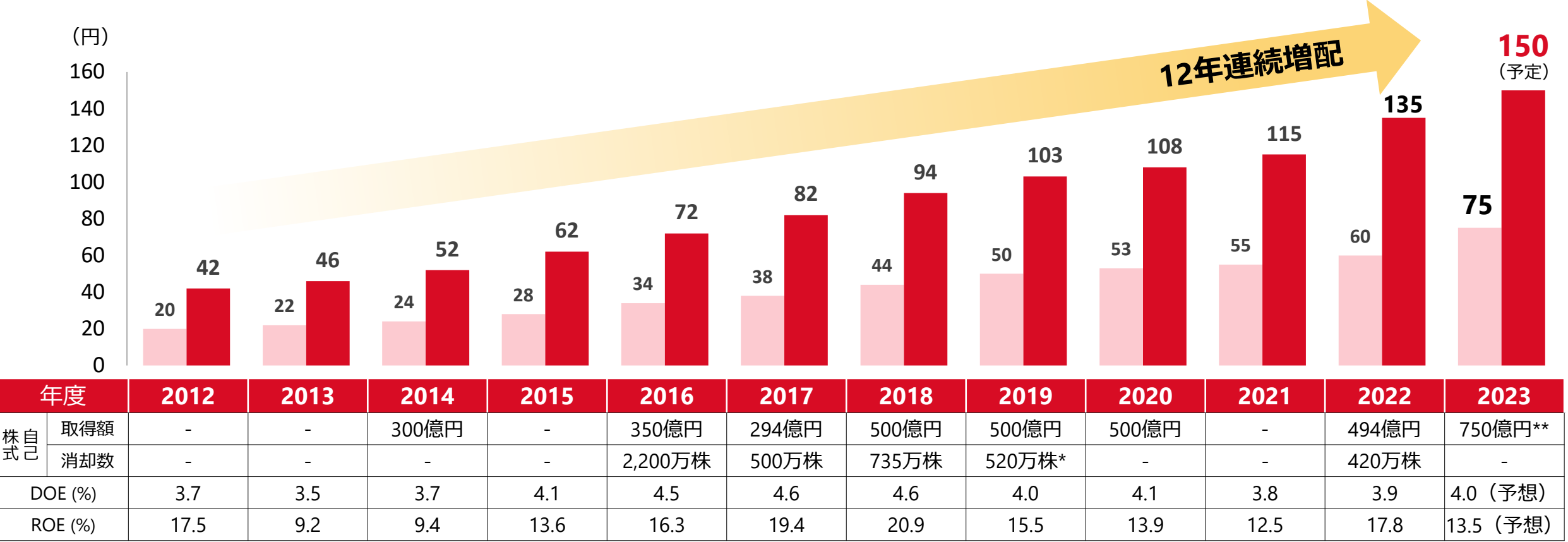
疾患領域	プロジェクト	対象疾患	現開発ステージ	2023年度	2024年度
感染症	S-268019	COVID-19（ワクチン）	申請		
	Olorofim	侵襲性アスペルギルス症	Phase 3		Phase 3 登録完了（4Q）
	S-337395	RSウイルス感染症	Phase 1	Phase 1 速報	
	S-892216	COVID-19	Phase 1	Phase 1 速報	
	S-743229	AMR（尿路感染症）	Phase 1		
	S-649228	AMR（各種感染症）	非臨床		
	S-268023	COVID-19（XBB1.5ワクチン）	非臨床		
社会的 影響度の高い QOL疾患	ズラノロン	大うつ病性障害	Phase 3	Phase 3 速報（3Q） 申請（4Q）	
	Resiniferatoxin	変形性膝関節症	Phase 3		申請（4Q）
	SDT-001	ADHD	Phase 3	申請	
	Zatolmilast	脆弱性X症候群	Phase 2/3		Phase 2/3 速報（FY24 3Q） 申請（FY25 1Q）
	レダセムチド	急性期脳梗塞	Phase 2b		
		栄養障害型表皮水疱症	Phase 2		申請（3Q）
	S-309309	肥満症	Phase 2	Phase 2データの入手（FY24 1Q）	Phase 3開始
	S-531011	固形がん	Phase 1b/2		Phase 2 パート開始（2Q）
	S-151128	慢性疼痛	Phase 1	Phase 1 速報	

アジェンダ

- 01 What's SHIONOGI P.5
- 02 SHIONOGIの成長戦略 P.13
中期経営計画 STS2030 Revision
- 03 株主還元方針** **P.28**

配当金と自己株式の取得・消却

- SHIONOGIの成長とともに実感していただける株主還元政策
 - 自己株式の取得・消却、政策保有株の持合い削減も含め、資本効率を向上
 - 今年度の年間配当は150円、12年連続の増配を予定





あしたの感染症と、 たたかっている。

感染症がこの世からなくなることはない。

パンデミックも、きっとまた起こる。

だからこそ、SHIONOGIは逃げずに向き合い続けます。

その時私たちの創るワクチンが、治療薬が、
強く、強く、ひとつでも多くのいのちを守れるように。

薬ができることの、その先へ。



SHIONOGI



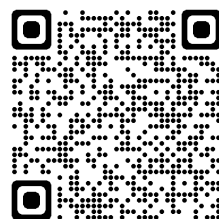
ご紹介：SNS公式アカウントと個人投資家向けIRサイト

報道関係者や投資家、広く一般の方に向けて、ソーシャルメディアをはじめとする多様なツールを活用した積極的な情報発信に注力しています



SHIONOGI

IRサイト
個人投資家の皆さまへ



YouTube
SHIONOGI



X
SHIONOGI / @SHIONOGI_JP



YouTube
シオノギカナデ
/ Shionogi Kanade



Instagram
SHIONOGI / @shionogi_official

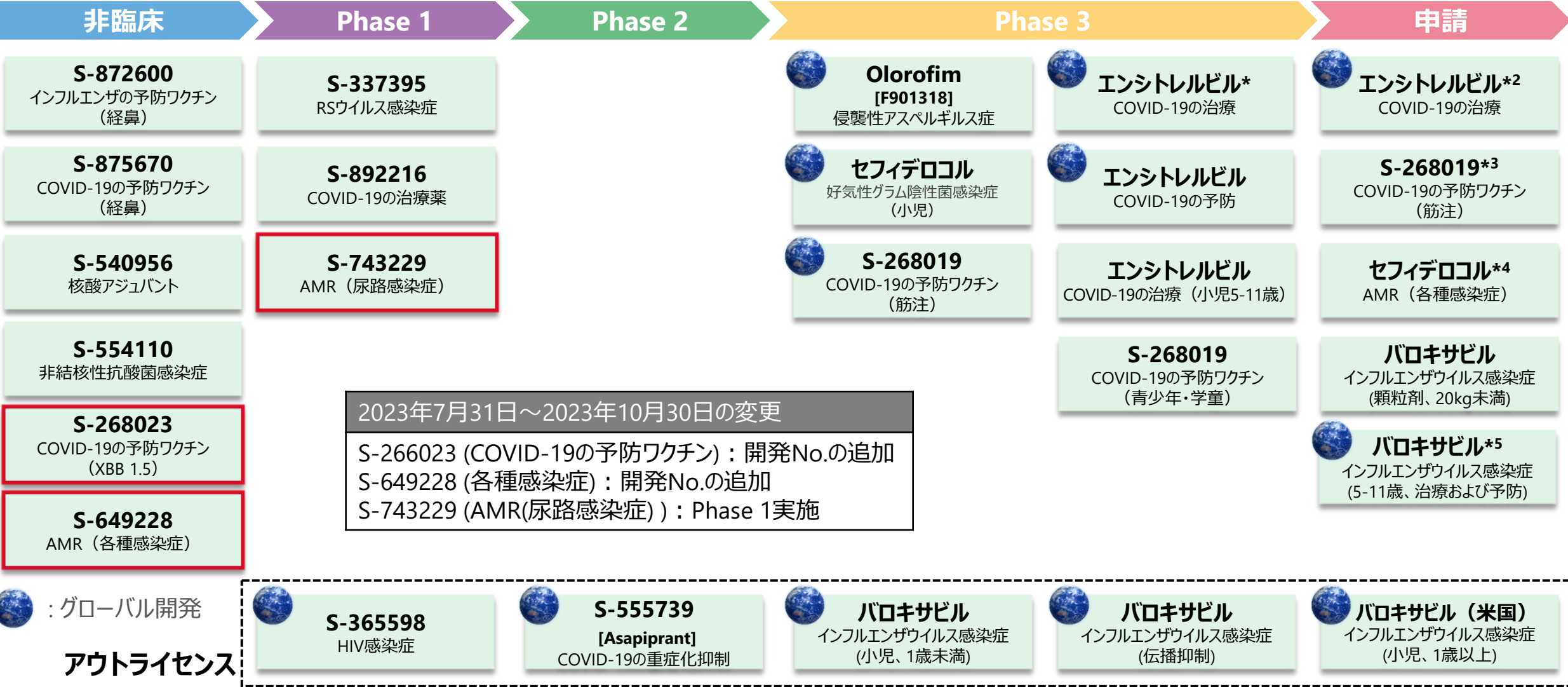


有益な情報をお届けしています。
アカウントをお持ちの方はぜひご覧ください。

Appendix

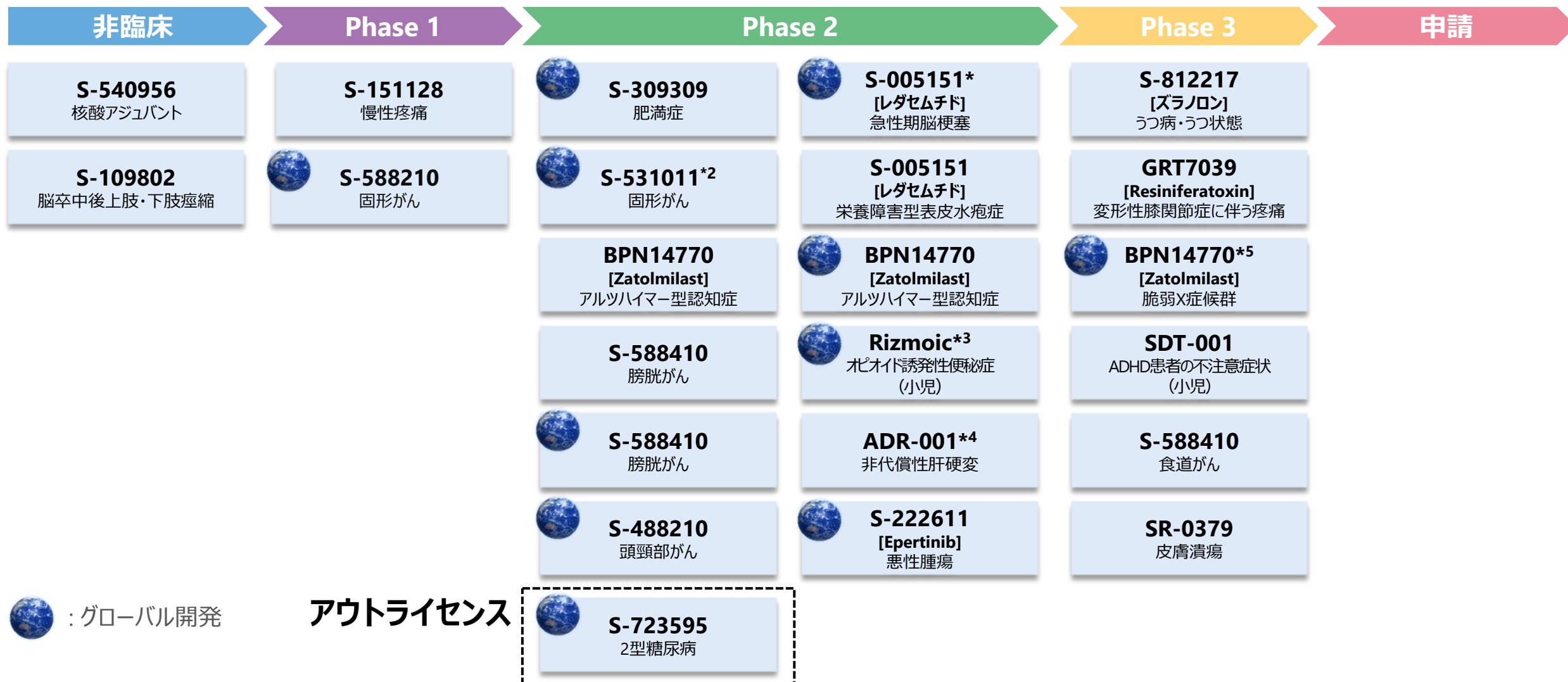
開発パイプラインの状況_感染症

2023年10月30日現在



開発パイプラインの状況_社会的影響度の高いQOL疾患

2023年10月30日現在



* グローバルPhase 2b実施中 *2 Phase 1b/2実施中 *3,4 Phase 1/2実施中 *5 Phase 2b/3実施中